



発泡スチロールで組み立てた恐竜の骨格模型が展示された教室

玉野高で10日、「玉高祭」が開かれた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、別日程の体育祭を取りやめるなど規模を縮小。一般公開はせず、体育館でのステージ発表は生徒と保護者のみに動画投稿

玉野高

稿サイト・YouTubeでライブ配信した。展示発表は、各教室で入場制限やアルコール消毒などを徹底。各部や委員会などのほか、1〜3年が縦割りの4ブロックに分かれて工夫を凝らした展示を用意した。

感染対策工夫し玉高祭

「理科と地域研究に関する展示」がテーマのCブロックは、発泡スチロールで組み立てたティラノサウルスやトリケラトプスといった恐竜の骨格模型を飾り、断熱性や緩衝性のある発泡スチロールの素材としての特性を模造紙にまとめるなどした。2年1組の菊地梨有来さん(16)は「みんなで力を合わせて良い展示ができた。コロナ禍でも玉高祭ができたことに感謝したい」と話した。

体育館のステージ発表では、吹奏楽部がトップを切り、故西城秀樹さんの「ヤングマン」などの演奏を披露した。演劇部やバトン部なども日頃の練習の成果を発揮。入場制限がある中、観賞した生徒は声を出さずに手拍子などで盛り上がった。例年は体育祭で行う、生徒がオリジナル衣装で創作ダンスを踊るグループデモンストレーションもした。

ステージ発表

生徒と保護者に動画配信



息の合った迫力ある演奏を披露した吹奏楽部のステージ

玉野商工高の「雄心祭」は10月8日と11月10日、備南高の「臥竜祭」は10月15日と11月5日に開催予定。光南高の「紫稜祭」は9月4、7日に規模を縮小し、一般には非公開で実施された。

(矢吹喜一朗)